



## 1 事業の成果

昨年度に引き続き、引きこもり状態の方や精神的な理由などで働きづらさを抱える方と人手不足の農業界をつなげるための就農支援プログラムを提供した。

地域の農業法人や経営者とも連携を行いながら雇用就農を目指すプログラムの提供により、農業法人や食品産業に就職した卒業生を輩出でき、「農業を食糧と食料に」という理念に基づいた活動ができた。

就農支援プログラムの横展開に向けた挑戦として、農林水産省・新規就農者確保推進事業による農スクールプログラムのマニュアル化に取り組んだ。鎌倉市主催の「農業就労体験セミナー」においては、新設された「就労特化コース」で、農業者を目指す人に向けたプログラム提供を行った。

また、将来的に就農支援プログラムの担い手となる可能性のあるトレーナーに向けた、講座の開催・OJTプログラム提供などを行うことで、トレーナーのスキルアップを図った。

## 2 事業内容

### （1）令和4年度 農林水産省 新規就農者確保推進事業

#### ・就農支援プログラム（導入編）

週に1度2時間ほど畑で野菜栽培を実践しながら、基本的な農業スキルや農業知識について学ぶ。また野菜を作り上げる体験によって自己肯定感を取り戻し、仲間との共同作業によりコミュニケーション力の向上につなげる。

時期：4月～7月（計10回）

受益者：多様な事情で働きづらさを抱える人 のべ228名

#### ・就農支援プログラム（基礎編）

近隣農家・農業法人を訪問、週に1度2時間程度の農作業を行うことで、より実践的な農業スキルを習得し雇用就農の現場を体験する。

時期：8月～11月（計10回）

受益者：多様な事情で働きづらさを抱える人 のべ63名

#### ・農スクールプログラムを過去受講した卒業生と現役生の交流会を開催

時期：11月（1回）

受益者：多様な事情で働きづらさを抱える人 7名

参加支援者数：14名

(2) 神奈川県地域の支え合い仕組みづくり事業

農業を通じた自立支援プログラムの担い手（農キャリアトレーナー）のご案内、育成講座を行うことで、居場所づくりとして農業を始めようと思う方の後押しを行った。

・農キャリアトレーナーのご案内

農スクールの活動と農キャリアトレーナーについて知っていただくため、講座「誰もが農業を職業と食糧に」を開催した。

時期：10月（1回）

受益者：就労困難者の就労や農業者の人手不足問題に興味関心を持った方々 13名

・農キャリアトレーナー育成講座の開催

農キャリアトレーナーの資格を持っている方に対して、自立支援プログラムを提供する現場の事例や今後の課題について、より実践的に知っていただくための育成講座をオンライン開催した。

時期：9月（1回）

受益者：農キャリアトレーナー資格保有者 3名

・農キャリアトレーナー希望者1名に対してOJT育成プログラムを提供

農スクールのワークノート集計・分析によって、プログラムを重ねる中での受講生の心理的変化のプロセスについて理解を深めた。また農スクール基礎編プログラムの見学（2回）によって、プログラム構築方法やトレーナーの心得・注意点を学んだ。

・農キャリアトレーナーに向けての動画作成

農スクールプログラム修了後に雇用就農している方、雇用主である農業法人の方々へのインタビューを実施した。またインタビューの様子を動画に編集し、プログラム修了後の就農イメージの共有を目的として、農キャリアトレーナー育成講座で紹介した。

動画 URL：<https://www.youtube.com/watch?v=70NmZiS0OaA>

(3) 鎌倉市農業就労体験セミナー（就労特化コース）

・就農支援プログラム（導入編）

週に1度2時間ほど畑で野菜栽培を実践しながら、基本的な農業スキルや農業知識について学ぶ。また野菜を作り上げる体験によって自己肯定感を取り戻し、仲間との共同作業によりコミュニケーション力の向上につなげる。

時期：6月～8月（計10回）

受益者：多様な事情で働きづらさを抱える鎌倉市民 のべ47名

・就農支援プログラム（基礎編）

近隣農家・農業法人を訪問、週に1度2時間程度の農作業を行うことで、より実践的な農業スキルを習得し雇用就農の現場を体験する。

時期：9月～12月（計10回）

受益者：多様な事情で働きづらさを抱える鎌倉市民 のべ48名

（4）鎌倉市農業就労体験セミナー（農業体験コース）

鎌倉市在住の方を対象にした農業就労体験セミナーを月1回開催。参加者同士でコミュニケーションを取りながら、農具の使い方や作物を育てる楽しさについて学ぶ。

時期：4月～3月（計12回）

受益者：就労や自立に不安のある鎌倉市民 のべ84名